（1）主題名　　明るい心で　〔小学校高１－（４）　関連項目１－（６）〕

（2）ねらい　　自分にとって幸せとは何かを考え，人としての生き方にふれることで，誠実に明るい心で楽しく生活していこうとする態度を育てる。

（3）資料名　「しあわせ」（出典：あなたへ５　レイフ・クリスチャンソン　岩崎書店）

資料の概要

「しあわせってなに」の問いかけに対して１４の作者の思いを書き綴っている。最後の文では，「しあわせってなに」に対して「自信をもつこと」「自分をたいせつにすること」「自分とおなじくらいほかの人もたいせつにできること」で終わっている。「しあわせとはなにか」を自分に問いかけているような詩である。

（4）学習指導過程

	学　習　活　動	主な発問と児童の心の動き	留　意　点
導入	1　「幸せ」について思ったことを発表する。	○幸せだなあと思うのはどんな時ですか。 ・食べている時 ・友だちと遊んでいる時	○自由に言える雰囲気にする。
展開	2　詩「しあわせ」を聞いて話し合う。	○自分の思っている幸せとどれが一番近いですか。 ・ひとりぼっちで悲しいときにだれかが気付いて心配してくれること ・大切だと思ったら勇気を出してやってみること ○選んだわけを書いて発表しましょう ・ぼくは「○○」を選びました。訳は～だと思ったからです ○自分の考えと比較しながら意見を言いましょう。 ・○○さんの意見を聞いて，そういう考え方もあるなあと思いました	○８連のうちの始めと最後の連を除いた１２の答えの中から選ばせる ○ネームプレートを黒板につけさせる。 ○友だちの意見を聞きながら自分の意見を深めたり，変えたりできるようにする。
	3　自分にとって幸せとは何かを自分の言葉で書く。	◎あなたにとって幸せとは何かワークシートに書いてみましょう。 ・しあわせってなに，それは毎日友だちと楽しく過ごすこと ・しあわせってなに，それはあきらめないで自分で決めたことをすること	○本当の幸せとは何かを考えさせる。 ○自分の言葉で書くことで自分の生き方を見つめるきっかけになるようにする。 ○書きやすいようにワークシートを用意する。 (BGM を流しながら全員の発表を聞かせる。)
	4　最後の一連に注目しながら，詩を通して聞く。	○最後の連での幸せに対する作者の思いを聞いてください。 ・そうか「自信をもつことや自分を大切にすること，ほかの人も大切にできること」って幸せと関係あるんだ	○落ち着いた雰囲気で児童の心に響くように読む。（BGM）
終末	5　教師の説話を聞く。 （友だちの生き生きした表情の写真を見る。）	○友だちはどうして幸せそうな顔をしているのかというと・・・ ・そうかみんなにほめてもらったから ・いいことをして気持ちがよかったのか ・友だちがいるから	○日々の生活の中に幸せはいっぱいつまっていることを感じとらせる。

実践報告にみる留意事項

１　資料・題材について

「しあわせってなに」が何回も繰り返されるリズムのよさの中で，心地よくしあわせ観を考えられるような詩である。最後の連は，集約された「しあわせ」に対する作者の思いが書かれており，自己肯定感をもつことが自他ともに幸福になることにつながるというのがわかる。幸せ（自分の生き方）について考えるきっかけになる資料である。

２　指導過程の工夫

詩の中で自分が幸せだと思う答えの所にネームプレートをはることで，児童は自分なりに考えようとした。そして，個々で思いが違うことがわかった。また，どうしてそれを選んだかを話し合うことでいろいろな考え方を知り自分の考えも深めることができた。

そして，児童自身の言葉で自分にとっての幸せを書き, BGM を流しながら一人ずつ語っていくと，普段の生活の中に幸せはあると感じることができた。

最後の説話では，教師の感じている幸せを語るとともに，友だちの生き生きしている表情の写真を見せて幸せを感じ取らせた。資料提示では，絵本を見せながら提示する方法もある。

３　発問の工夫

児童同士の意見の交流ができるような発問の仕方をした。また，一人一人の意見にうなずき，認めるようにした。

自分が選んだ詩の言葉に自分のことを重ねて言えるように切り返し発問をした。

４　児童の反応

「どれが自分にとっての幸せか」の問いに対して，「ベストをつくすこと」「ひとりぼっちで悲しい時に・・・」を選んだ児童が多かった。選んだ訳としては,「負けてもベストを尽くしているから，後で後悔しないから」「ひとりぼっちで悲しい時に気付いてくれたらうれしい」また，他のものを選んだ児童では,「王様になって戦争をやめさせたりして，平和な世界に変えられるかもしれないから」「剣道でまだ一度も勝ったことがないから」など自分の思いや体験の中からも発表していた。

だれも選んでなかった「人気者になること」のところでは「人気者になっても幸せとは限らない」という意見があった。

「自分にとっての幸せとは何か」では「友だちと楽しく過ごすこと」「家族といっしょに食事をすること」などが多かった。普段の生活の中に幸せがいっぱいあることを感じていた。

５　授業後のフォローアップ

授業の終末で児童の生き生きした表情を紹介したように，朝の会や帰りの会でよかったことなどを紹介する。人から認めてもらったり，充実感を味わったりできるように，日々，よいところをほめ，励ましていきたい。　　（柿浦小学校）